

映像で綴る名古屋の 400 年

1月17日付の読売新聞「名古屋 400 年の変遷」という記事に目が留まった。名古屋のまちづくりが始まった1610年の「名古屋開府」から現代に至る歴史を膨大な写真や絵画、動画で紹介するホームページが完成し、今月から公開されているという。「映像で綴る名古屋の 400 年」であり、東区の映像制作団体が作った。

さっそくアクセスしてみると、写真のようなトップページが出てきた。写真は、大正初期の栄町交差点である。記事でも紹介されているように、江戸、明治、大正、昭和初期の地図から名古屋城などをクリックすると、当時の写真や絵が出てくる仕掛けになっており、ビジュアルに歴史の移り変わりを知ることができる。また、江戸時代の名古屋城から熱田神宮までのまち並みを上空から眺めるCG、七里の渡しを描いたアニメなどの映像も見られる。アドレスは <http://nagoya400history.com/> であり、名古屋のまちづくりを考える資料として大いに活用できる。



こうした地図として「名古屋城下図」も興味深い。名古屋市博物館の学芸員が2年をかけて制作したもので、「おおにぎわい 城下町名古屋」展で手に入れた。とくにCD-ROM版では現在と江戸・明治の各時代との比較可能であり、全国初の地図という。こうした地図を手にして散策すれば、名古屋のまち歩き、まちなか観光をより楽しむことができるであろう。

(2008年1月22日 記)